

くもだちのくもじちゃん

すてきなともだち

3年 H・Tさん

「くもだちのくもじちゃん」を読んで私が思ったことは、活発で何でもよく知っていると言われるさつきちゃんも、のんびり屋で何を考えているのかわからないとさちゃんの方が物知りだということですよ。

さいよ、さつきは自分が物知りだと思っていました。けれど、本当はとまちゃんの方がたくさん細かいところまでかんさつして、ふしぎに思ったことをそうぞうして、みんなが気づかなかったことに気づけるからですよ。

そうぞうしたことをともだちに教えて、大切なことに気づかせてあげられるとさちゃんはすてきな子だと私は思いました。

私はこの本にしている「のろのろひつじとせかせかひつじ」という本を読んだことがあります。「のろのろひつじとせかせかひつじ」はなんでもいそいでいるせかせかひつじと、のんびり屋ののろのろひつじがいつもいっしょにいるお話です。せかせかひつじは少しだけののろのろひつじにイライラしていました。けれど、せかせかひつじが見すごしてしまふようなことをのろのろひつじは、とまちゃんのようにじっくり考えてかんさつしていました。そして、さいよにはのろのろひつじは自分が信じる道をえらびました。せかせかひつじはのろのろひつじをすてきなともだちだとそんけいしました。

とまちゃんは「生きこいていると昨日とはずまっただけちがうていぬ」と言っていました。かめのこうらの中には、思い出がつまっているということや、きらきらしたサンマは前はどんな海を泳いできたのかなとをそうぞうしていたのだと私は思います。さつきも昨日とはずまっただけ世界がちがうし、自分もちがっていることに気づかされ、とまちゃんがともだちでよかったなと思ったんだと思います。

みんなが気がつかないようなことを教えてくれるとまちゃんやのろのろひつじのように、私のまわりにもそんなすてきなともだちがたくさんいることに気づきました。ちがう考えや物の見方をするところが世界が見えたりわかったりするの、ちがう考えをもったともだちはみんなにひとつようでみんなに大切です。そして、私もだれかのとまちゃんになりたいと思いました。